

ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 木村 匡登

■使用テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集） 「最新・社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法[社会専門]」中央法規出版
◆参考テキスト	

講義概要・一般目標

本科目は「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワーク実習」などと相互に連結する理論科目として重要である。ソーシャルワーカーである社会福祉士が行う専門的業務を理論的に整理し、具体的な方法を身につけていきましょう。そのため、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ（共通）を踏まえ、社会福祉士として、多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解していきましょう。

また、支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための知識と技術について理解していきましょう。

到達目標

- 1) 地域共生社会における総合的かつ包括的なソーシャルワークについて説明できる
- 2) ソーシャルワーク実践における援助関係について説明できる
- 3) ソーシャルワーク実践におけるネットワークングとコーディネーションについて説明できる

評価方法

科目単位認定試験により評価する。

学習指導

第1章 総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実践

この章のポイント

ソーシャルワーカーは地域共生社会におけるソーシャルワークの機能を発揮するため、ミクロからマクロに至るそれぞれのシステムにおいて、さまざまな社会資源と協働して課題解決に向けた役割や機能を担うこととなります。ソーシャルワーク実践の総合的かつ包括的支援とはどのようなものかを考えましょう。

第2章 ソーシャルワークにおける援助関係の形成

この章のポイント

ソーシャルワークの援助関係はクライアントとソーシャルワーカーとの専門的人間関係にあります。その援助関係はどのようなものかについて検討しましょう。そして、その援助関係を形成していくための方法や留意点について整理しましょう。

第3章 ネットワークの形成

この章のポイント

複雑で多様な問題を抱えたクライアントシステムを支援するとき、そのニーズに応じた社会資源をつなげることが必要になる。ネットワークの性質や形、特性や機能、ネットワーク構築のプロセスについて整理しましょう。また、コーディネーションに関する知識・技術について整理しましょう。